

「サステナビリティレポート 2024」公開

～持続可能な社会の実現に向けた活動報告～

住友林業株式会社(社長:光吉 敏郎 本社:東京都千代田区)は5月1日、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する当社グループの活動をまとめた「サステナビリティレポート 2024」を[ホームページ](#)に公開しました。

本レポートは ESG 投資の専門家をはじめ幅広いステークホルダーに向けて、当社グループのサステナビリティ活動を網羅的に報告しています。

今年のレポートは、中期経営計画「Mission TREEING 2030 Phase 1」の基本方針「事業と ESG の更なる一体化」の実現に向けた目標である「中期経営計画サステナビリティ編」の2023年度実績およびその事業と連動した取り組みを掲載しています。

特に昨今、関心が高まっている生物多様性の保全やネイチャーポジティブについては、TNFD^{※1} 提言に沿った自然への依存・影響、リスク・機会を LEAP アプローチ^{※2} で分析し、前年までに実施した全社横断的なTCFD^{※3} シナリオ分析と一体化した開示を試みました。生物多様性と気候変動の両側面から事業を推進する当社グループの総合的な情報開示に努めています。また、報告内容は GRI スタンドアード 2021^{※4} や SASB スタンドアード^{※5} を参考に作成しています。

昨年開示した「サステナビリティレポート 2023」は環境省が主催する「ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」の環境サステナブル企業部門で、金賞を受賞しました。^{※6} 今後も多くのステークホルダーへのわかりやすい開示に努めます。

住友林業グループは SDGs 目標年でもある 2030 年を見据え、長期ビジョン「Mission TREEING 2030」を策定。長期ビジョンでは「地球環境への価値」「人と社会への価値」「市場経済への価値」の視点から 9 つの重要課題を特定しました。

中期経営計画「Mission TREEING 2030 Phase 1」(2022 ～2024 年)では「事業と ESG の更なる一体化」を基本方針の 1 つに掲げ、サステナビリティ戦略及び重要課題を組み入れた「中期経営計画サステナビリティ編 2024」を定めています。重要課題ごとに定めた目標値達成を通じて SDGs をはじめとする社会の期待に応え、企業価値の向上につなげていきます。

[サステナビリティレポート 2024\(WEB ページ\)](#)

■「サステナビリティ レポート 2024」概要

- ・対象期間:2023年1月～2023年12月
- ・対象組織:当社と連結子会社および一部の持分法適用会社
- ・公開方法:住友林業ホームページ(<https://sfc.jp/information/sustainability/>)にて公開
- ・第三者保証機関:KPMG あずさサステナビリティ株式会社

■冊子版について

- ・「サステナビリティ活動ハイライト」を、ダイジェスト版冊子として発行(7月予定)
- ・WEBの詳細情報を紙媒体で必要とされる場合は、PDF版「サステナビリティレポート 2024」をご利用ください(7月公開予定)。
- ・長期的な企業価値向上へ向けた取り組みを報告するため、非財務面の情報を含む統合報告書を発行(6月予定)

※1 自然関連財務情報開示タスクフォース

※2 TNFD が開発した、事業における自然との接点や自然との依存関係、影響、リスク、機会など自然関連課題を評価するための統合的なアプローチ。「Locate:発見」「Evaluate:診断」「Assess:評価」「Prepare:準備」というプロセスで構成される。

- ※3 気候関連財務情報開示タスクフォース
- ※4 UNEP(国連環境計画)の公認団体である GRI(Global Reporting Initiative)が策定する企業・組織に対するサステナビリティレポートに関する国際基準
- ※5 米国サステナビリティ会計基準審議会(Sustainability Accounting Standards Board)が公表する ESG 情報開示のフレームワーク。
- ※6 ニュースリリースリンク / [第 5 回 ESG ファイナンス・アワード・ジャパン「環境サステナブル企業部門」で初の金賞を受賞 | 住友林業 \(sfc.jp\)](#)

《 本件に関するお問い合わせ先 》
住友林業株式会社
コーポレート・コミュニケーション部 神田・内田
TEL:03-3214-2270